

会 議 録

会議の名称		平成29年度第2回守谷市特別職報酬等審議会				
開催日時		平成30年1月25日(木) 開会：午後1時30分　閉会：午後3時10分				
開催場所		守谷市役所 庁議室				
事務局(担当課)		総務課				
出席者	委員	池田会長，阿部委員，松丸委員，古池委員 齊藤委員，川畑委員，福田委員		計7名		
	その他	松丸市長				
	市職員	須賀総務部長，小林総務課長，松井課長補佐 総務課寺田係長，財政課南崎係長				
公開・非公開 の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
公開不可の場合 はその理由		—				
会議次第		1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 諮問 5 審議事項 (1) 市長，副市長及び教育長並びに市議会議員の期末手当 の支給月数について 6 その他 7 閉会				
確定年月日			会議録署名			
平成30年2月16日			池田政雄			

審 議 経 過

【資料】

- ① 会議次第
- ② 守谷市特別職報酬等審議会に対する諮問の内容及び特別職の報酬額等の決定について
- ③ 一般職の給与の改定の仕組み
- ④ 平成29年度人事院勧告等の給与改定について
- ⑤ 一般職の給与及び特別職の報酬額等の推移（資料1）
- ⑥ 一般職の給与改定率及び特別給の年間支給月数の推移（資料1-1）
- ⑦ 守谷市特別職の報酬額等の推移（資料1-2）
- ⑧ 守谷市特別職の期末手当の支給月数の推移（資料1-3）
- ⑨ 各市との特別職の報酬額等の比較（資料2）
- ⑩ 状況類似団体との特別職の給料・報酬額等の比較（資料2-1）
- ⑪ 県内近隣市の人事院勧告に基づく条例の改正状況（資料2-2）
- ⑫ 守谷市の財政状況（資料3）

1 開会

2 会長あいさつ

3 市長あいさつ

4 諮問

【諮問書（守谷市特別職の報酬等の額について）を市長から会長へ提出する。】

国は、官民較差等に基づく給与水準改定を行い、本年8月、人事院勧告により、特別職のボーナス（期末手当）等の引上げを決定した。

この人事院勧告を踏まえた、本市特別職（市長・副市長・教育長・市議会議員）の期末手当の支給月数及びその改定期の改定について諮問する。

【市長は公務のため、中座する。】

5 審議事項

【会議録の発言者の氏名を記載の了解を得る】

【審議会条例第5条の規定により、会長が議長となる。】

(1) 市長等の給料額及び市議会議員の報酬の額について

【資料②から資料⑪までを事務局：寺田係長から説明する。】

【資料⑫を事務局：南崎係長から説明する。】

池田議長： 資料内容に対して質疑を行っていきたいと思います。事務局からの説明のとおりであれば、市の財政状況はそれほど悪いような感じではないように思われます。もちろん借金が無いわけではないので一概に安心できる状況ではないでしょうが、徐々に良い方向に向いているということが分かります。資料内容を皆さんで検討していただきたいと思います。

県内の近隣市町村の状況も資料にあります。審議会にかけずに議会に上程している市が多いようですが。

小林課長： 他市町村では特別職報酬等審議会の審議案件に期末手当等を入れていない市町村が多いと思われます。守谷市においては審議事項を「給与」としておりますので、期末手当等も含めてご審議していただいております。

池田議長： 状況類似団体の状況を見てみますと、各市によりボーナスと給料のバランスが違う状況が見受けられますかね。

寺田係長： 茨城県内においては、多くの市町村が支給月数は同じような状況ですが、県外に目を向けますと、ボーナスと給料のバランスが少し違う状況が見受けられます。

阿部委員： ここに記載されております、埼玉県の和光市と千葉県の上野市を挙げてありますが、なぜこの自治体を選択して載せたのでしょうか。

小林課長： 人口や産業構造など、規模が同等の類似団体の中から、この市町村を挙げさせていただきました。茨城県内だけですと参考団体が少なくなってしまうため、都心からの距離が同等の市を選び、県外市町村も入れさせていただきました。

阿部委員： 人口ひとつを考えてみても、守谷市のように人口が伸びてきて7万人弱になっている市と、減ってきて7万人弱になっているような状況の市では、比較するとしては少し違うような感じがします。

また、この県外の市は先ほど池田会長が言っていたように、ボーナスと給料のバランスが、当市とはかなり違いますので、参考にならないのでしょうか。

小林課長： 阿部委員のご意見のとおり、県外に目を向けるとあまり参考にならないと思われますので、次回からは県外団体ではなく、できるだけ多くの県内団体のみの比較資料を作成するというところでよろしいでしょうか。

池田議長： 私は守谷市の近隣市町村の状況が分かった方が比較しやすいと思いますね。

小林課長： 了解いたしました。

池田議長： 守谷市においては、議会議員と特別職の支給月数がずれてきていますが、先々また審議して調整する必要があると思いますが。

川畑委員： 財政状況の説明がありました。10年後の予測が入っておりますが、どのように計算されているのでしょうか。

南崎係長： 近年の過去の実績と、予算編成の際に必ず毎年各課において、調査をかけて今後の予算状況や市税の状況を確認し、扶助費等における自然増や今後の公共施設の大規模修繕等も加味させていただき、シュミレーションを行い計算させていただいております。

福田委員： 財政力指数について、参考にお聴かせいただきたいのですが、近隣であるつくば市はいくつになっていますか。

南崎係長： 平成29年度においては1.01となっております。

川畑委員： 財政力指数において、数値は過去三年間の平均と聞いておりましたが、どのような考え方になるのですか。

南崎係長： 平成28年度を例にして説明しますと、26年度、27年度、28年度をそれぞれ単年度毎に計算したものの平均となっております。

川畑委員： 単年度だけ良くても良い数値にならないということですね。

南崎係長： 単年度だけで見てしまいますと、大きな変化があった場合など数値が大きく変わってしまう恐れがありますので、三箇年の平均値となっております。

齋藤委員： 財政力指数が0.99と上がっておりますが、その要因等は何かあるのでしょうか。

南崎係長： 松並の区画整理事業が竣工され、転入者が増えたことによる人口増などが要因として挙げられます。

齋藤委員： 工場や企業が増えたことによる、法人税の増収ということではないのですかね。

南崎係長： 法人税も多少は伸びているようですが、人口増による要因であると聞いております。

池田議長： 委員の方々、他にご意見、ご質問はございませんか。

全委員： 特にごございません。

池田議長： それでは、いままでの説明を聞いて他にご質問等がないようでしたら人事院の勧告どおりで、答申させていただくことでよろしいでしょうか。

全委員： 意義ありません。

【以上、(1)市長、副市長及び教育長並びに市議会議員の期末手当の支給月数について答申書(案)を作成し、事務局から読み上げる。】

池田議長： 答申書(案)について、皆様からの意見を伺いたい。

阿部委員： 三役と議会議員の支給月数に差があるので、付帯意見として今後も審議していくことを付け加えた方が、よろしいのではないのでしょうか。

池田議長： ただ今、阿部委員からの意見について、付帯意見を付け加えるこ

とでよろしいでしょうか。

小林課長： 前回も付帯意見として、継続審議していくとした部分ですので、今回も付帯意見として付け加えさせていただきます。

全 委 員： 異議ありません。

池田議長： それでは答申（案）のとおり、決定します。

【答申書（守谷市特別職の報酬等の額について）を会長から市長へ提出する。】

7 閉 会

以 上